

第120回例会(関東近世史研究会との合同例会)プログラム

趣旨説明 落合 功(青山学院大学)

「江戸から東京へ」(9:30~9:40)

第1部 「江戸周辺論の再検討—大石学監修『江戸周辺の社会史』を手掛かりに—」
(9:40~12:00)

報告

- 1、『江戸周辺の社会史』執筆グループ(行田健晃・篠原杏奈・田口 良・山田篤史)
「拡大する『江戸周辺』と地域社会—『江戸町続』論の提起と課題—」
- 2、宮坂 新(館山市立博物館)
「『江戸町続』論と地域変容・行政」
- 3、山崎久登(都立砂川高等学校)
「『江戸町続』論と地域編成・首都」
- 4、大石 学(独立行政法人日本芸術文化振興会)
「将軍鷹狩と由緒・遺物—江戸周辺論によせて—」

質疑・討論

第2部 シンポジウム「江戸から東京へ」(13:00~18:00)

報告

- 1、松本剣志郎(法政大学)
「江戸・東京の道路と負担」
- 2、高山慶子(宇都宮大学)
「幕末維新期の江戸・東京における名主の社会的位置」
- 3、滝口正哉(立教大学)
「山王祭・神田祭をめぐる構造的変化と意義」
- 4、高道昌志(東京都立大学)
「河岸地の成立に見る水際空間の近代化—江戸城外濠と神田川を中心に—」
- 5、櫻井良樹(麗澤大学)
「明治10年代以後の東京の政治秩序と地域秩序—部制と区内社会—」

コメント

- 1、牛米 努(明治大学非常勤講師)
「江戸から東京への一視点—徳川の繁栄を明治政府は挽回できたのか—」
- 2、市川寛明(江戸東京博物館)
「江戸における近代化と都市化」

質疑・討論

司会 小松賢司(福島大学)

松本洋幸(大正大学)